LAN・CAFÉ

だより



November, 2026

2026年11月号

豊橋語学教育研究室

映画紹介『ワーキング・ガール』(Working Girl, 1988 年)vs『プラダを着た悪魔』(The Devil Wears Prada, 2006 年)・『プラダを着た悪魔 2』(The Devil Wears Prada 2, 2026 年)

天野剛至

『ワーキング・ガール』（1988 年）は、ニューヨークのビジネス界を舞台に、秘書からキャリア・ウーマンへと成長していくテス（メラニー・グリフィス）を描いた作品である。1980 年代末の職場では、男性が証券マンとして活躍する一方、女性は秘書として男性を支えるという性別による役割分担が当然視されていた。テスも能力と向上心を持ちながら、学歴や性別による壁に阻まれている。さらに、男性社員から性的な誘いを受ける場面は、当時の職場におけるセクシュアル・ハラスメントを象徴している。

テスは、上司キャサリン（シガニー・ウィーバー）に自分のアイデアを横取りされたと知ると、自らそのアイデアを実現しようと行動を起こす。最終的にはジャック（ハリソン・フォード）の協力も得て、その能力が認められ、新たなキャリアを手にする。女性が男性中心の職場社会で成功をつかむ物語として、当時としては進歩的な作品だったといえる。一方で、男性の支援によって「引き上げられる」というシンデレラ物語の側面も残されている。

この点は、2006 年の『プラダを着た悪魔』と比較すると興味深い。アンディ（アン・ハサウェイ）は、ミランダ（メリル・ストリープ）のもとで働きながらキャリアを築くが、最後は男性に救われるのではなく、自らの判断で職場を去る。さらに 2026 年の『プラダを着た悪魔 2』では、女性のキャリアにとどまらず、デジタル化や AI、コンプライアンスの厳格化など、働く環境そのものの変化が描かれる。

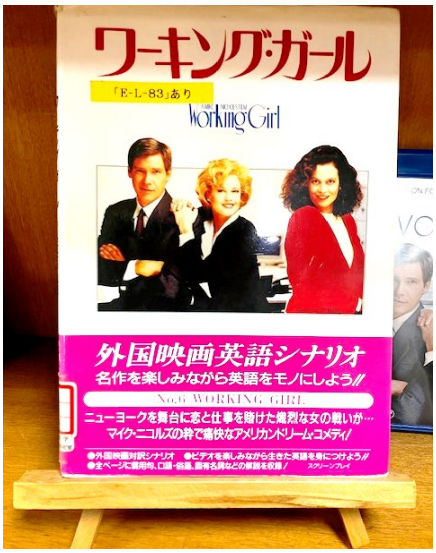
三作品を並べて観ると、1980 年代の「男性社会で認められる女性」から、2000 年代の「自分の生き方を自ら選ぶ女性」、そして 2020 年代の「変化する社会のなかでキャリアを再構築する女性」へと、映画における働く女性像の変遷が見えてこよう。





少年老い易く…

文学部
天野剛至





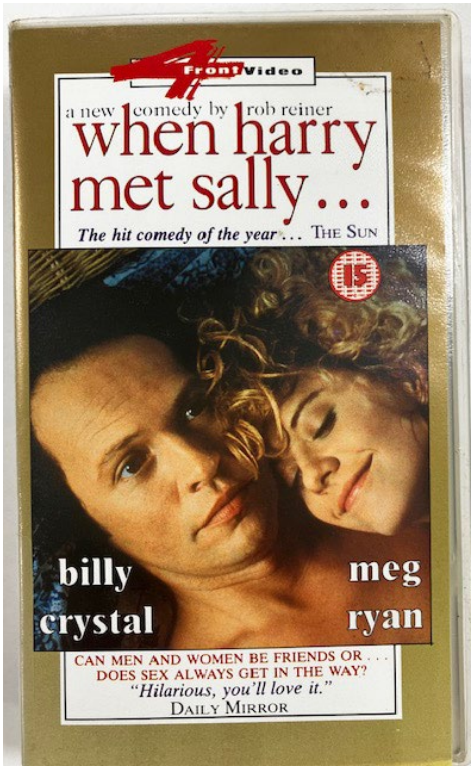
「スクリーンプレイ」シリーズとは、かつて1990 年代から 2000 年代にかけて、英語学習教材として一世を風靡した映画のセリフ対訳本のシリーズである。映画好きで英語好きだった私はこのシリーズのファンだったのだが、ひょんなことから一時期、このシリーズの編集長を務めていたことがある。その時分、『プラダを着た悪魔』（2006）、『JUNO／ジュノ』（2007）、『スラムドッグ＄ミリオネア』（2008）、『風と共に去りぬ』（1939）、『カサブランカ』（1942）など、数々の作品の発刊に携わった。そのなかの一つに、『ナイト・ミュージアム』（2006）がある。

『ナイト・ミュージアム』はニューヨークを舞台にした映画である。この本のなかで、私はニューヨークを舞台にした映画を紹介するコラムを書いた。古くは、『三十四丁目の奇蹟』（1947）、『ティファニーで朝食を』（1961）、『タクシードライバー』（1976）――。私がアメリカの大学に留学していた 1980 年代後半から 1990 年代初めにかけては、『恋人たちの予感』（1989）、『ゴースト／ニューヨークの幻』（1990）、『ホームアローン 2』（1992）などがある。その後も『ダイハード 3』（1995）、『メン・イン・ブラック』（1997）、『フォーン・ブース』（2003）、『プラダを着た悪魔』（2006）、『魔法にかけられて』（2007）など、枚挙に暇がない。

なかでもニューヨークがよく似合うのは、やは

りロマンティック・コメディ、いわゆる「ロムコム」である。『ワーキング・ガール』(1988)、『めぐり逢えたら』(1993)、『ユー・ガット・メール』(1998)、『セレンディピティ』(2001)、『メイド・イン・マンハッタン』(2002)――映画のなかのニューヨークは、恋が始まる街として、これ以上ない魅力的な舞台だ。





留学生時代の 1991 年の暮れ、私は留学生仲間から「ニューヨークまで車で行って、カウントダウンをしながら新年を迎えよう」と誘われた。ニューヨーク――一度は訪れてみたい憧れの街。ところが、そのとき私はすでに先約があり、泣く泣く誘いを断るしかなかった。そして、新年が明け、再会した友人たちから興奮冷めやらぬ様子でニューヨークの話を聞かされるたびに、「僕も行けばよかった」としばらく後悔することになった。

そして、2026 年夏。私はニューヨークの地を初めて訪れた。あの若い頃に行き損ねてから実に 35 年という月日が経っていた。まさに「光陰矢の如し」、「少年老い易く…」ではなかろうか。

ニューヨークでは、映画のロケ地をいくつか訪れた。といっても、ニューヨークでは、ただ街を歩いているだけで映画の舞台に行き着く。トリニティ教会、ウォール・ストリート、シーポート・ディストリクト、ブルックリン橋、エンパイア・ステート・ビル、グランド・セントラル・ターミナル、五番街、ロックフェラー・センター、タイムズスクエア、自然史博物館、ザ・プラザ・ホテル、セントラルパーク――。どこも一度はスクリーンで見たことのある場所ばかりだ。

なかでも、『ワーキング・ガール』のオープニングに登場するスタテン島とマンハッタンを結ぶフェリーに乗り、スタテン島に点在するロケ地を訪れるのは、私にとってまさに「聖地巡礼」であった。マンハッタンの各所とは異なり、主人公テスがボーイフレンドと同棲していた(後にそこ

を飛び出すことになる）アパートの建物や友人が結婚式を挙げた教会は、観光客に知られることもなく、ひっそりと佇んでいた。徒歩で島を巡り、最後に映画のなかの住人になったつもりで、ひなびた繁華街のカフェに立ち寄り、マフィンとコーヒーで一服してから島を後にした。こうして私は、35 年前に果たせなかったニューヨークの旅を、ようやく終えることができた。長年にわたって胸の片隅に引っかかっていたものが、すっと取れたような気がした。



最後に自己紹介を。2026 年度から豊橋キャンパスの文学部教授に着任した天野剛至（あまの・つよし）です。専門はアメリカ思春期文学・映画分析。ゼミでは映画を題材に、アメリカにおける人種・エスニシティ、ジェンダー、セクシュアリティ、階級などについて分析しています。豊橋キャンパスのランゲージセンターには、早速私の 3 年次ゼミで鑑賞する映画 30 作品の DVD を揃えていただきました。これから、この場所で学生たちと映画を観ながら、映画のなかのアメリカを語り合っていきたいと思います。また、こちらの紙面でも、おすすめの映画作品を紹介できればと考えています。どうぞよろしく。



ぜひランゲージセンターへ

見に来てください♪

2026年11月

Lauguage Centerではお昼以外にもネイティブの先生たちとお話する機会があります♪

Communication Skills：月水 3限　　フランス語会話（中級）Ⅱ：火 5限

	月	火	水	木	金
	2	3	4	5	6
昼			EnglishCafé/GlobalCafé		EnglishCafé/CaféFrançais
3限			Angela Wolf Student-led seminars		
5限					
	9	10	11	12	13
昼	EnglishCafé	EnglishCafé	EnglishCafé/GlobalCafé		EnglishCafé/CaféFrançais
3限	Alexander Lee Harvey Student-led seminars		Angela Wolf Greek Mythology Introduction		
5限		OLIVERO REGIS Test oral de mi-semestre.			
	16	17	18	19	20
昼	EnglishCafé	EnglishCafé	EnglishCafé/GlobalCafé		EnglishCafé/CaféFrançais
3限	Alexander Lee Harvey Student-led seminars		Angela Wolf Popular Myths and Characters 1		
5限		OLIVERO REGIS Proposer.			
	23	24	25	26	27
昼	EnglishCafé	EnglishCafé	EnglishCafé/GlobalCafé		EnglishCafé/CaféFrançais
3限	Alexander Lee Harvey Student-led seminars		Angela Wolf Teacher-led seminar		
5限		OLIVERO REGIS Demander de faire quelque chose.			
	30				
昼	EnglishCafé				
3限	Alexander Lee Harvey Student-led seminars				
5限					

Alexander Lee Harvey	OLIVERO REGIS	Angela Wolf
		

GlobalCafé/CaféFrançaisは
LanguageRoomでの開催です♪

LAN-CAFÉ だより 2026年11月号(第61号)
WEB版URL：
http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken/kikanshi.html
2026年10月26日発行
発行：愛知大学豊橋語学教育研究室
〒441-8522豊橋市町畑町1-1
TEL：（0532）47-4170
URL：http://taweb.aichi-u.ac.jp/tgoken